

こだなか

編集・発行/大ヶ谷戸
小田中町会広報部

ごあいさつ

新・町会長 齊藤 春夫



都市化が急速に進み、さまざまな課題を抱えております。本年9月より、普通ゴミ収集が週2回になります。ゴミの減量に協力すると共に、夏場の生ごみ対策など環境整備に配慮していきたいと思っております。

去る5月19日、小田中町会通常総会にて、推挙、承認され町会長となりました。今まで町会会計、2部副会長として微力ながら町会発展のため協力して参りました。このたび、「顔が見える」町会に

重要な役割に就き責任の重圧を感じますが、役員、委員、会員の皆さまと共に、さらなる町会の発展と融和を図るべく努力していく所存です。ご理解とご協力をよろしく願います。さて、当町会も人口増加



した。ご年配の方・乳幼児・子ども・女性など各世代の視点にたち、不安の中での避難所生活で、町会としてどのような運営をすべきか考える必要があります。

困難な時にあって一人一人を大切にやる心ある町会にするため、日頃の近隣の連帯を強めたいものです。まずは、向こう三軒両隣の清々しい挨拶から出発して「顔が見える」町会にしていきます。

最後に町会行事や活動に大勢の方に参加していただきながら盤石な町会構築を目指してまいりますので、どうぞよろしく願います。

通常総会

平成25年度大ヶ谷戸小田中町会通常総会が、5月19日、小田中町会館で盛大に開催されました(写真)。

「開会の辞」のあと、小林町会長代行があいさつ。「役員・委員の皆さんに

は、日ごろから町会活動にご尽力をいただき心より感謝申し上げます。体調を崩された志村町会長に

代わり、昨年5月より代行を務めてまいりました。皆さまのご協力で無事に総会を迎えられることに感謝いたします。

議長選出等を経て、24年度事業報告・収支決算報告・会計監査報告を審議し全員一致で可決。続いて今年度の事業計画(案)と予算(案)が審議され、承認されました。

続いて6号議案「会則改正」について説明がありま

14年ぶりに新町会長が誕生

した。《質疑応答の要旨》

【問】会則改正の中に「役員・委員の任期は2年」とあるが、「原則として2年」と含みを持たせてはどうか。

【答】原則論の含みを持つた期間と解釈できるので、原案のままにしたい。

【問】毎月の定例役員会になぜ「すみれ会」が含まれていないのか。

【答】各部門の部長と同様、必要に応じて参加するようにしたい(黒沼すみれ会長)。



最後に、役員改選で、14年ぶりに新町会長が誕生。その重責を齊藤春夫氏が担うことになり、前任の志村勝氏は名誉会長、会長代行の小林幸悦氏は相談役に就任しました。

(※その他の役員・委員は、別刷り名簿を参照)。

最後に、町会より志村・小林の両氏に花束が贈られ、無事に総会が終了しました。



名誉会長 志村 勝

新会長支え心通う町に

長きにわたり、会員の皆さまのご理解とご協力をいただきましたことに心より御礼を申し上げます。

私は「心の通う温かい小田中町会」を目指し皆さまとご一緒に、防災訓練を始め、さまざまな取り組みを推進させていただくことができました。

このたび、斉藤春夫新町会長のもと新たな発展を目指しスタート致しましたことを心よりお喜びを申し上げます。私も微力ながらお役に立たせていただきたいと思っております。終わりに、町会のますますの発展と、会員の皆さまのご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



相談役 小林 幸悦

経験生かし町会発展へ尽力

昭和46年に町会衛生部の役職をいただき、昭和52年には4部副会長に就任し、今回、相談役となりました。

長きにわたり職務を遂行することができましたことは、ひとえに役員・委員・会員の皆さまの温かいご理解とご協力の賜です。心より厚



2部副会長 岡村 昇

絆を強く希望の第一歩を

このたび、2部副会長として推挙・承認され、身の引き締まる思いをいたしております。

思えば、18歳で、雪深き山紫水明の地・津南町を後にし新潟市へ。そしてここ川崎・小田中へ移り住んで38年、生まれ育った地より



4部副会長 大塚 孝司

新たな人材発掘に尽力

このたび、小林前副会長の後任として4部副会長の任を仰せつかりました。今までスポーツ推進委員として町会スポーツ大会、グラ

ンドゴルフ大会等のお手伝いをさせていただきました。今後は副会長を兼務することになり、前副会長をはじめ4部の皆さま

新しい力で明るく町を

く感謝申し上げます。

思い起こせば、町会の節目である20周年や50周年の記念事業に参画できたこと、「すみれ会」の発足にも関わったことなど尽きせぬ思いで一杯です。

これからも微力ですが町会発展のため協力していく所存です。

長く居住することに至りました。

それは立ち返るべき新たな心の「故郷」の誕生です。この地が拠つて立つ私の生涯の原点です。小田中に脈打つ豊かな文化を育み、絆と連帯を深めるべく、諸先輩の皆さまとともに希望の

第一歩を踏み出します。

任を努めていきたいと思っております。

当4部は、更なる活力ある町づくりのために若い役員・委員の登用が急務です。町会行事への積極的参加などを進める中で親睦を深め、人材発掘に努めて明るく住みよい町を築いていきたい

と思っております。

今後の主な行事予定

7月	会報「こだなか」発行
7月	「(婦) 盆踊り練習
7月	「(子) NHK早朝ラジオ体操
7月	納涼盆踊り大会
7月	「(子) 友愛チーム研修
7月	「(婦) 手作り教室
9月	川崎市防災訓練
9月	関神社例大祭
9月	「敬老の日」お祝い表敬訪問
10月	美化運動
10月	赤い羽根・共同募金活動
10月	「(子) 研修旅行
10月	「(子) 河川敷清掃
10月	スポーツ大会
10月	グラウンドゴルフ大会
11月	中原区民祭
11月	防災訓練
11月	「(婦) ガーデニング教室
11月	「(子) 友遊ラリー
11月	「(子) 歩く会
11月	「(子) ふれあい祭り
11月	美化運動
12月	「(子) 友愛訪問
12月	「(子) 餅つき大会
12月	「(子) 野球部・クリスマス会
12月	年末夜警巡回
△平成26年△	
1月	会報「こだなか」発行
1月	「(子) 風揚げ大会
2月	役員・委員視察研修
2月	「(子) 新年研修会
2月	「(子) 書道・絵画ちぎり絵作品展
3月	「(子) 野球部お別れ会
3月	グラウンドゴルフ大会
3月	美化運動
3月	「(子) 子ども夢パーク

※毎月第1木曜日 役員会
※毎月第2木曜日 例会・誕生会

グランドゴルフ



「わたしもできるよ!」。とても良い環境のなか、子どもたちも大いに盛り上がりました。(3月3日 豊学校)

年末夜警



「火のよ〜じん “カチ・カチ”」 — 打ちならす拍子木の音。師走になると聞こえてくる夜の防犯パトロール。安心して夜が更けます。(12月27日~30日)

マイタウン ハイライト

子ども会・運動会



例年よりひと足早い梅雨入りのなか、たくさん子どもたちが元気いっぱい笑顔と力を出しあい、明るく活気づきました。(6月2日 豊学校)

美化運動



日曜日のちょっと早い朝、ほんの少しの思いやりと協力で快適にさわやかな香りのする街になりました。

(6月9日)

9月から

普通ゴミが週2回に

普通ごみ	毎週月曜日 ※週2に変更
プラスチック製容器包装	毎週火曜日
資源物	毎週水曜日 ※曜日変更
普通ごみ	毎週木曜日 ※週2に変更
ミックスペーパー	毎週金曜日 ※曜日変更
小物金属	毎月第2火曜日・第4火曜日
粗大ごみ	毎月第2火曜日・第4火曜日

※土・日曜日は収集なし

川崎市の廃棄物行政は「減量化・資源化の促進」「環境負荷の低減」などを目標に、「普通ごみ収集を週2回」へ変更します。

特に夏場のごみ集積場については、町民一人一人のモラルが問われます。皆さまでルールを守り、清潔できれいな秩序ある町にしていきましょう。

皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



ゴミ収集体制の変更について説明する市職員 (3月31日 町会会館)

ゴミ収集が変わります

すみれ会

会長 黒沼 久子

健康第一に親睦交流を

本年度も、月例の例会・誕生会をはじめ歩く会、友愛訪問など区老連の諸行事にも積極的に参加し健康第一に親睦を深めてまいります。

5月14日の区老連演芸大会(写真)では、男

女混成で「北国の春」を合唱。事前に、佐藤繁納さんが、歌詞を三色(男性Ⅱ青、女性Ⅱ赤、全員Ⅱ黒)に色分けしてくださったお陰で、とても歌い易く、今までにない歓声に包まれました。



中原区老人演芸大会

こども会

会長 渡辺 信夫

豊かな心を育む配慮を

総会も終わり、新年度がスタートしました。本年度も、早朝ラジオ体操、友遊ラリー、餅つき大会等への参加・ちぎり絵作品点への出品等を通じて、子ども達が協調性、



子ども夢パークにて

第46回作品展に入選

本年3月3日に実施された川崎市子ども会連盟主催の第46回作品展で、多くの応募の中、鉄村拳太君(当時小学5年生)が、見事に入選しました。これからも精進し良い作品を期待します。



強い信念

わが町の栄え

会 計
布施 年一さん



沈着冷静な人柄。一見、酒豪のような印象を受けるが、あまり呑まない。元中原区町連会長の長兄・喜作

氏と顔がそっくり。

「兄と、よく間違えられるんですよ。全く見知らぬ人から、「先日は大変にお世話になりました」なんて(笑)」。ユーモリストでもあり、柔らかな笑顔で笑わせる。趣味も、家庭菜園・

沈着冷静な「老人会の黄金柱」

社交ダンス・フォークダンス・新洋舞——等々多彩。

昭和6年、7人兄弟の三男として、下小田中の農家で生まれ育つ。

昭和23年、法政大学付属

副課長・課長の要職に。

定年後まもなく、当町会の盆踊り祭礼委員を引き受けた。「少しでも地域の皆さんの役に立てれば、と思っていました」。現在は元職

の経験を生かし、特別会計の経理を担当。

一方、毎年、区老連演芸大会の司会役や「川崎市老連ダンスまつり」の実行委員長を務めるなど、老人会の重鎮としても活躍中。本年4月まで10年間、老人会組織・

松寿会会長を務めてきた。

「お年寄り仲間には、心身共に健康で充実した黄金の余生を楽しんでほしい」——このことが、何よりの喜びであり願ひでもあるのだ。

編集後記

★新会長とともに新たな地域づくりを開始。不透明な社会だからこそ、連帯と和で、安心・安全の街へ。
★人のために生きることは、歓喜と黄金の人生を歩むことにつながる。布施年一氏に人生の極意を学ぶ。
★9月よりゴミの収集が大きく変更。一人一人のモラルと信頼の輪できれいな小田中に。そこに地域の真価が問われることを忘れまい。